



観音寺
第一高校

同窓会報



平成21年度

立校会
香川第一高等学校
同窓会



ごあいさつ

同窓会会長

三宅 昭二

(観一28年卒)

会員の皆様には日頃のご支援を心より感謝申し上げます。

私共役員は任期満了となり五月に全員再選されました。同窓会役員は、お世話役として『会員相互の親睦と後進の育成をはかり母校の発展に寄与する』ために努力してゆきたいと希っているところですが、これから二年間、さらなるご鞭撻を、どうぞよろしくお願い致します。

さて今年の総会は、四三九名と云う過去最高の参加者であふれました。「本部同窓会も参加がかったは四十名の時期があった」と白川市長がご挨拶で述べられました。十数年前からの、支部・年次の組織充実が共に着々と進みつつあり、今日の盛況に至っていることをお互いに喜び合いたいと思います。私達は、観一高同窓会の歴史の中で、自らの努力で新しい時代を刻みつつあることを実感します。

分析したところです。今年の総会出席者増とその熱気に安心した次第です。この会費のお陰で観一生には、部活動の『振興奨励費』と『育英基金』が同窓会から贈ることができ大いに役立っていると感じます。

同窓会は、あくまでも自主的な参加によって、ボスをつくらぬ民主的な運営と財政の健全化を目指して行かなければと思えます。一口千円の会費も会員皆様のご理解を得て、年ごとに増加して来ていますが、実は昨年度は、九百名（一五パーセント）減少となり一同心配いたしました。しかしこれは、昨年度に限って二枚の振込用紙をお送りし、A票に千円の会費を、B票に百十周年の募金を、お願いしたので、思案の内には用紙が見当らなくなつたのではないかと理事会でも

いよいよ百十周年記念の年が来年に迫って来ました。伝統校にふさわしい記念事業を、と皆様のご意見を頂き総会でも発表致しました通り、今回はハコモノの建築よりも、節目の年にふさわしい少予算でソフト充実の事業を考え、計画しました。募金（目標二千万円）部会も含めて、副会長が各委員長となり昨年八月より活動中です。

趣旨をご理解の上格段のご協力をお願い申し上げます。来年十月の創立百十周年記念式典には、全国各地から同窓の皆様がご参集下さり歴史と伝統ある観一高を記念して共に祝い出来まことを。

会員の皆様にはどうか健康にご留意の上、心豊かな日々を過ごされんことをお祈りします。



ご挨拶

校長

若宮 道男

同窓会の皆様には、本校の教育活動に対し一方ならぬご支援を賜りまして、誠に有難うございます。昨年度は、同窓会育英基金からの奨学金の給付や部活動の振興のためなどに多額のご支援をいただきました。心から厚くお礼を申し上げます。

さて、本校の現況について、ご報告いたします。

本校では、ここ数年にわたり、生徒一人ひとりの能力や適正を伸ばす学習指導や進路指導の充実、さらに心豊かな人間性を高める教育を目的とした本校独自の試みである「観一ヒューマンフォスタープラン」を実施して参りました。その内容を挙げますと、①生徒対

象の生徒教養講座や進路講座の実施。②早朝学習・早朝読書の実施。③樟樹セミナーの実施。受講希望生徒に対して、土曜日に、年間二十回ほどのセミナーを実施して、

学ぶことの面白さを認識させ視野を広げる機会とすることを目的としています。④理数科研修の充実。理数科一年生を対象にここ数年は

兵庫県西はりま天文台で合宿研修を行っています。⑤大学との連携。サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)の取り組みにより、最先端の研究に触れさせています。生徒による志望校の

大学訪問については、ここ数年大阪大学の研究室訪問を実施してきましたが、今年度はそれに加えて、

東京大学など首都の大学訪問を実施し、現地で卒業生からの激励をいただきました。

本校生徒には、長い歴史と伝統に育まれた文武両道を目指す校風が、脈々と受け継がれております。

本年六月上旬に行われた香川県高等学校総合体育大会には、本校から三四〇名を超える生徒が出場し、

昨年が続いて県下の高等学校の中で一番参加生徒が多い学校となっています。戦績も大変素晴らしいので、七月末から八月上旬にかけて、奈

良県を中心として行われた全国高等学校総合体育大会には、陸上部ソフトテニス部、山岳部、アーチエリート部、水泳部、が出場しました。また、野球部は猛練習に励み、甲子園出場を目指しましたが、土庄高校との試合に惜敗しました。

一方、学芸部の活動も運動部に負けず盛んで、八月に三重県で開催された全国高等学校総合文化祭には、邦楽部と美術部が出場しました。

来年度に迫って参りました本校百十周年記念事業につきましては、六つの部会で企画検討がなされ実施に移っております。特に、資料館部会には作業部会が設置され、先輩文庫の充実や資料館の展示資料のデータベース化等に取り組んでいただいております。百十周年記念事業まであと一年ほど、

学校も同窓会の皆様とともに準備を進めて参ります。

学校も時代とともに少しずつ変わって参りますが、長年にわたって育まれた本校の伝統と校風を継承しつつ、これからも地域の皆様

に信頼される学校であり続けたいと思っております。今後とも、皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い致します。

資料館部会

同窓会副会長 大久保健二

眠れる宝庫「資料館」を活かすべく部会・作業部会にて作業を進めています。特に①わかり易い展示 ②不足する資料の収集に重点をおいて分類・整理を進めています。

特に今年度より観一祭にて教室を借り特別展示することとなりました。同窓生がお世話しますので是非お立ち寄り下さい。

次に教科書等揃っていない資料があります。ご提供又はご紹介をお願いいたします。又先輩文庫の充実を考えています。同窓生の著作提供をお待ちしています。

全ての作業完了は二十二年八月末を予定しています。

マイクログラス部会

主に運動部が使用するマイクログラスは使用期限があと二年となりました。

来年秋の納車を目途に購入作業を進めます。

募金部会

創立百十周年記念事業 実行委員会報告

尚、今年度も募金の受け付けを継続しておりますので、まだ申し込まれていない方で、ご賛同いただける方は、よろしくお願いいたします。

記念式典部会

同窓会副会長 小野 詔子

式典部会では、記念行事の持ち方について三部会を開催し、検討を重ねた結果、左記のような内容で実施する予定です。

○実施時期
平成二十二年十月二十四日(日)

○場所 観音寺グランドホテル

○会費 六千円

○記念講演 講師 大西 廣氏 (昭和30年観一卒) 東大卒

元コロナピア大学教授

専門 美術史学 観音寺市出身

オープニングには、観一生による邦楽演奏も計画しております。

百十周年記念誌部会と

三女講堂部会の進捗について

同窓会副会長 藤村 育雄

記念誌部会は今までに五回実施しており、確実に前進しています。部数は同窓会分五千冊、予算は五百万円です。二〇〇〇年から二〇一〇年までの母校の軌跡を残すために編集されます。その内容は「序」では発刊の辞、学校風景や校内所蔵芸術作品、「第一章」では生徒の学校生活を四季折々の行事の写真で表現し、沿革史、十年間の生徒たちの記録、「第二章」では懐

かしき思い出を中心に昔の写真、三女の方の座談会による思い出話、三女講堂復元までの記事、同窓会活動等、「第四章」では教養講座講師による寄稿文の掲載、「第五章」では観一の今を紹介することとなっており。作業部会も加わり、具体的に話が進んでいます。

三女講堂部会はその当時洋館風でハイカラだった三女の講堂のミニチュアを予算二百万円で作すためのものです。部会は一回行われていきます。三女の講堂の当時の設計図はなく数少ない写真やスケッチにより、基本設計を作り、ミニチュアを作ろうという手順で行っております。ただ手持ちの資料ではなかなか細かい部分までは分ならず、第一回の部会で三女の皆さんに遠い記憶を思い出ししてもらいながら、詳細なデザインを決めて行っております。基本設計は高松工業高等学校の建設環境工学科の先生に依頼して、初秋には基本設計図ができる予定になっております。その後その設計図をもとにミニチュア作りの会社に見積り合、発注と言う予定で進んでいます。この部会で面白いのは三女の方から昔の話が聞けること、考古学のような推測で三女の講堂のデザインを決めていくことです。

いづれにしても二つの部会は同窓生皆様のお力をお借りしなければ、いい物が作れませんので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。

三女講堂部会

同窓会副会長 藤村 育雄

三女の方から昔の話が聞けること、考古学のような推測で三女の講堂のデザインを決めていくことです。

いづれにしても二つの部会は同窓生皆様のお力をお借りしなければ、いい物が作れませんので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。

三女講堂部会

同窓会副会長 藤村 育雄

三女の方から昔の話が聞けること、考古学のような推測で三女の講堂のデザインを決めていくことです。

いづれにしても二つの部会は同窓生皆様のお力をお借りしなければ、いい物が作れませんので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。

三女講堂部会

同窓会副会長 藤村 育雄

三女の方から昔の話が聞けること、考古学のような推測で三女の講堂のデザインを決めていくことです。